

過去に実施した臨床研究(小児科)

| | |
|----|---|
| 1 | 固体物FPIES症例の適切な負荷試験時期に関する検討 |
| 2 | 川崎病および小児多系統炎症性症候群(MIS-C/PIMS)における診断、治療に関わる多機関共同研究 |
| 3 | アレルギー疾患の早期発見における、BCG接種後「コッホもどき」の有用性の検討 |
| 3 | 小児における肺炎球菌感染症、全国サーベイランス |
| 4 | 川崎病診療におけるレチノール結合蛋白質の有用性の検討 |
| 5 | アドレナリン自己注射薬(エピペン)の実物を教育現場で使用体験してもらうことの有用性の検討 |
| 6 | DIFTO study: 乳幼児喘息に対するフルチカゾン間欠吸入と連日吸入の増悪抑制効果に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較試験 |
| 7 | 食物経口負荷試験によりアナフィラキシー症例に関する調査 |
| 8 | 新規プロトコル(静岡川崎病治療プロトコル2016)による川崎病治療効果の検討 |
| 9 | 国内小児における肺炎球菌莢膜血清型の疫学的検討 |
| 10 | Test-negative designを用いた小児におけるインフルエンザ・ワクチンの有効性の検討 |
| 11 | JSKDC04: 初発小児特発性ネフローゼ症候群患者を対象としたプレドニゾロン国際法(2ヶ月投与)と長期投与法(6ヶ月投与)の有効性と安全性の多施設共同オープンランダム化比較試験 |